



題字 井口 文章
再刊 第232号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2017

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面 春季球技大会 決勝&3決特集
球大を支える保健委員会に迫る
二面 優勝クラスMVP特集
勝利の立役者にインタビュー

ぶつかり合う熱い錦城魂

春季球技大会閉幕

5月29日(月)から31日水の3日間にわたる春季球技大会が幕を閉じた。全競技で熱い戦いが繰り広げられ、勝利を手にして喜ぶ生徒や、惜しくも負けて悔しがる生徒が多々見られた。

女バス決勝 2I対1G

第1ピリオド開始直後、立って続けに2Iが得点を決めて、試合中盤で1Gが得点を連取するも、2Iがフリースローなどで追加点を上げ6対11で第1ピリオドが終わった。第2ピリオドも攻勢に出た。2Iは、わずかに1分の間に6点を決め、試合は2Iのペースに。1Gも果敢に攻めるが、試合中盤で1Gが得点を連取するも、2Iがフリースローなどで追加点を上げ6対11で第1ピリオドが終わった。第2ピリオドも攻勢に出た。2Iは、わずかに1分の間に6点を決め、試合は2Iのペースに。1Gも果敢に攻めるが、



勢いのあるドリブルでボールを繋ぐ1Gと必死に追いかける2I

女バレー決勝 3G対3D

第1セットは、3Dが先制点を決める。しかしその後すぐに3Gが取り返し、互いに譲らない戦いが続く。3Dが鋭いサーブを決めたところで



3Gと3Dの攻防戦

サッカー決勝 1C対3E

前半は3Eが積極的にシュートを決めようとするが、ゴールを大きく超えてしまう。その後も3Eは攻めのプレーを見せるが、1Cが力強くボールを蹴り飛ばし間一髪でシュートを防ぐ。前半残り5分、



ドリブルで相手をかかわす3E

ルを守り抜き、試合終了。1対2で3Eが勝利した。

ドッジボール 3L対3F

試合は3Fが開始早々に当たるが、すぐさま反撃に出る。3Lは外野と内野の素早いパス回しで、3Fの内野を1人にまで減らす。足元を狙ったボールを投げるなどの



力を込めてボールを投げる3F

男バス決勝 2A対3F

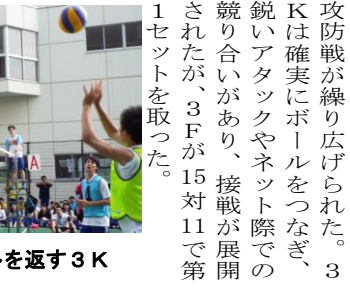
2Aが試合開始直後に2点を先取し、試合が始まった。激しい競り合いで接触やファールも頻りに起こり、両者ともフリースローのチャンスが多い。その後3Fが一本決めるも、2Aはゴール下の攻防戦で優位に立ち続け、16対2で第1ピリオドは終了した。



敵陣に切り込んだ2A

第2ピリオドでは3Fが冷静なプレーで挽回の機会を狙う。相手の守備を突破し3Pシュートを決める。しかし2Aは驚くような速さでパスをつなぎ、3Fに一度もボールを渡さずにシュートを決めた場面もあった。

第2セットは、一進一退の攻防で激しい対決になった。3Kは上手にパスを繋ぎながら3Fのミス誘い、このセットは3Kがとった。



巧みにボールを返す3K

野村くんは秋の球大に向けて「人が出さなければ、どんなに試合が熱くなっても気持ちよく試合を終えることができません。秋の球大は気候も穏やかでよりプレーがしやすい環境になると思うので、度を越しすぎず楽しんでほしいです」と語ってくれた。

日本では母の日にカーネーションを贈るが、父の日にはバラを贈るのだという。母の日のカーネーションは、アメリカ人の少女が、亡くなった母が好きだった白いカーネーションを教会で祭壇に飾り、出席者に配ったことが由来だ。一方の「父の日」もある娘の話が由来らしい。アメリカ・ワシントン州に住むジョン・ブルース・ドット婦人の父は戦争から帰ってきて、亡くなった妻に代わり男手一つで6人の子供を成人するまで育て上げた。父の死後、ドット婦人は「母の日」と同じように父に感謝する日もあるべきだと、1909年に「父の日」を制定することを教会に嘆願した。ちなみにドット婦人が父の墓前に白いバラを供えたことから父の日にはバラが贈られるようになった。高島屋オンラインショップHPより。世界各国に父の日はあるという。時期は国によって様々だが、日本はアメリカと同じ6月の第3日曜日である。錦城生の間でも、大学生になったら一人暮らしをしたいという話を耳にする。多感な時期にある私たちが吐くなど反発することもある。高校生の時期は子どもと大人の間の青年期にあるため、1年時の倫理で勉強したように心理的に支えられている。しかし、将来独立したら身の回りのことは全て自分でやらなければならない。そのため、これから大人になるにつれて「自立」することが私たち高校生には必要だと感じている。希望した高校に進めたことは今でも感謝している。時には大人に頼ることも、頼らなければいけないこともある。だが、これからコースや進路を自分の意志で選ぶことも自立の歩みになるはずだ。周りの人への感謝を忘れず、できることから自立への歩みを進めよう。

むらさき草

日本では母の日にカーネーションを贈るが、父の日にはバラを贈るのだという。母の日のカーネーションは、アメリカ人の少女が、亡くなった母が好きだった白いカーネーションを教会で祭壇に飾り、出席者に配ったことが由来だ。一方の「父の日」もある娘の話が由来らしい。アメリカ・ワシントン州に住むジョン・ブルース・ドット婦人の父は戦争から帰ってきて、亡くなった妻に代わり男手一つで6人の子供を成人するまで育て上げた。父の死後、ドット婦人は「母の日」と同じように父に感謝する日もあるべきだと、1909年に「父の日」を制定することを教会に嘆願した。ちなみにドット婦人が父の墓前に白いバラを供えたことから父の日にはバラが贈られるようになった。高島屋オンラインショップHPより。世界各国に父の日はあるという。時期は国によって様々だが、日本はアメリカと同じ6月の第3日曜日である。錦城生の間でも、大学生になったら一人暮らしをしたいという話を耳にする。多感な時期にある私たちが吐くなど反発することもある。高校生の時期は子どもと大人の間の青年期にあるため、1年時の倫理で勉強したように心理的に支えられている。しかし、将来独立したら身の回りのことは全て自分でやらなければならない。そのため、これから大人になるにつれて「自立」することが私たち高校生には必要だと感じている。希望した高校に進めたことは今でも感謝している。時には大人に頼ることも、頼らなければいけないこともある。だが、これからコースや進路を自分の意志で選ぶことも自立の歩みになるはずだ。周りの人への感謝を忘れず、できることから自立への歩みを進めよう。

3位決定戦!

決勝にも劣らぬ熱い戦い

女バレー1I対1J

男バレー3K対3I

ドッジ3H対3I

女バス3M対1D

男バス1B対3C

サッカー1J対3C

みんなのために水を詰めます

陰から支える保健委員会



球技大会中、保健室だけが委員は「今回は大きなけがな人や具合の悪い人の処置をしなくてはならない」と安堵の表情を浮かべた。(3D)と平真優さん(3E)に話を聞いた。二人で交代しながら仕事をしていた。特に午後には熱中症の人が増えるので、気を付けていることは「手は活躍の裏で、こういった人が働いていることを忘れないでほしい」(蘭)

延長戦開始後、どちらのチームもファールが多くなり焦りが見え始める。そんな中、3Eが渾身のシュートを決める。その後、両チームともけが人が出たことにより選手交代も見られたが、必死にゴール

オド、3Fは少しも点を取ろうと必死のプレーを続けるも、2Aの勢いを止めることができず、男バスの決勝は54対19で2Aが勝利した。

次期球技大会実行委員長の野村康貴くん(2C)は「野次などは全体的に少なかつたと思います。また試合運びはスムーズでしたと振り返る。しかし試合時間の前倒しが十分に伝わらなかつたり、審判の判断が少し緩かつたりしたことが反省点だ。上履きで中庭や外の会場に出る人が去年より圧倒的に多かつたことも気になった。来年はもっといい試合になるように頑張りたい」と話した。